

に、生涯教育制度の改善に努めて、確立を図る。

4. 都道府県医師会、郡市区医師会で実施する生涯教育活動との連携、情報交換、調整を図るとともに支援する。

5. 日本医師会雑誌およびその付録をはじめ、日本医師会医学講座などの日本医師会独自の生涯教育活動を企画立案し、それを実施する。また、日本医学会の活動（日本医学会各分科会および日本医学会シンポジウム、日本医学会総会など）を支援し、会員の参加を呼びかける。

6. 病診連携を進め、体験学習の実施を容易にする。

7. 将来的には、都道府県医師会の報告により修了証を発行する。

8. その他

2) 都道府県医師会の役割

1. 生涯教育委員会を設置する。

2. 生涯教育の必要性および内発的動機の啓蒙と、会員の自己申告への参加を呼びかける。

3. 自己申告制に関しては、郡市区医師会の報告を受け、その結果を整理し、日本医師会に報告する。

4. 日本医師会の計画・方針に沿って、大枠として郡市区医師会で実施のための方針の指示をする。

5. 都道府県医師会独自の生涯教育活動を企画立案し、それを実施する。

6. 郡市区医師会の意見を徴し、検討の結果を日本医師会に具申する。

7. 医師会病院や他の病院と密接な連携を図り、会員が体験学習を受けやすいような体制作り努める。

8. 各科医会や各グループなどの活動とも連携を図るように努め、これらの活動も支援する。

9. その他

3) 郡市区医師会の役割

1. 生涯教育委員会を設置する。

2. 生涯教育の必要性および内発的動機の啓蒙と、会員の自己申告への参加を呼びかける。

3. 自己申告制に関しては、会員の申告を受け、その結果を整理、評価し、都道府県医師会経由で、日本医師会に報告する。

4. 日本医師会、都道府県医師会の計画・方針に沿った具体的な生涯教育実施のためのプログラムを作成し、これを実施する。

5. 郡市区医師会独自の生涯教育活動を企画立案し、それを実施する。

6. 会員の意見を徴し、検討の結果を都道府県医師会に具申する。

7. 医師会病院や他の病院と密接な連携を図り、会員が体験学習を受けやすいような体制作り努める。

8. 各科医会や各グループなどの活動とも連携を図るように努め、これらの活動も支援する。

9. その他

5. 実施と今後の予定

以上、このガイドラインで述べた生涯教育制度化は、昭和61年4月から試行の予定である。

本報告は、この試行の際の必要最低限のガイドラインを示したにすぎない。したがって、試行にあたっては、都道府県医師会、郡市区医師会はその独自性を生かし、それぞれの地域の特性、会員の要求に沿った形で進めることが望ましい。

そして、試行のうえでの意見を日本医師会生涯教育委員会が受けとめ、各医師会でさらに実施が容易な形に改めて、はじめて生涯教育制度の実施が可能となろう。

実施の後も、継続して日本医師会は、都道府県医師会、郡市区医師会および会員と連携を密にして、よりよい生涯教育制度の確立を図ってゆく予定である。

資料12：日本医学会分科会の医学教育の現状

日本医学教育学会

日本医学会の82の分科会に対して行った医学教育の現状についてのアンケート調査に、53学会（回収率65%）から回答が寄せられた。

学会活動はすべて教育的であると考えられるが、ここでは、とくに教育のために継続的に企画・実践されている全国的なプログラムについて結果をまとめた。

学会総会（大会）の特別講演やシンポジウムなどは含めず、教育講演とサテライトプログラムの研修会などは取り上げてある。また、学会誌や小冊子、スライド、フィルムライブラリーなどによる教育についても割愛した。

1. 教育プログラムとその目的・対象（表）

表 教育プログラムとその目的・対象

学 会	教育プログラム名	目 的	対 象
解 剖	人体解剖セミナー	解剖学教育技術の向上と傍系出身教師の補習	解剖学実習指導者
	神経解剖懇話会	専門領域の能力向上と広範囲な意見交換	学会会員
	発生学懇話会	同 上	同 上
	形態人類学懇話会	同 上	同 上
	肉眼解剖学懇話会	同 上	同 上
	サロンダナトミー	解剖学の教育・研究に関する広視野の意見交換	同 上
	篤志解剖全国連合会団体部研修会 篤志解剖全国連合会実務担当者研修会	献体理念の向上と運動の拡大 献体取扱い事務の円滑化	篤志解剖全国連合会会員 大学解剖体取扱い関係実務担当者（事務官等）
生 理	教育シンポジウム	生理学教育の現状を知り、改革への方策を求める	学会会員
生 化	生化学若い研究者の会「夏の学校」 医科生化学教育協議会 生化学教育国際ワークショップ	生化学の研究について学習 医科生化学の教育全般の学習 生化学教育の改善	大学院生，一般会社員，一般医師 生化学担当教授全員 国際生化学連合教育委員，生化学教職員，学生，一般人，外国人留学生
	生化学教育ミニシンポジウム	生化学教育の改善	生化学会の教職員，学生，研究者
	病 理	病理学教育セミナー 交見会（全国と支部）	
細 菌	技術講習会	会員の技術向上	学会会員
衛 生	衛生学公衆衛生学教育協議会 日本衛生学会医学教育ワークショップ	医療機関における衛生学公衆衛生学等の教育に関して協議する 医学教育における衛生学，公衆衛生学の教育のあり方について討議する	医療機関における衛生学，公衆衛生学の教授またはこれに準ずる者
	温泉気候物理医	温泉療法医教育研修会	一般医師に対する温泉療法学の啓蒙および温泉療法指導を行える医師の養成
内 科	内科診療の進歩	会員の生涯教育の一環。とくに自分の subspecialty 以外の内科領域の向上のため	学会会員主体
	最近の話題 内科セミナー	会員の教育 会員のとくに臨床面での教育	同 上 同上，とくに実地内科医
	小児科	日本小児科学会セミナー 教育講演	小児科学の生涯教育 小児科学進歩の解説
結核病	胸部疾患学会との合同の教育講演 教育講演	重要な問題を選び，両学会会員のいずれも参加できるようにしている	両学会会員 学会会員
	眼 科	日本眼科学会専門医制度講習会	生涯教育の一端としてテーマを定め，専門分野の知識を高める

表 つづき

学 会	教育プログラム名	目 的	対 象
耳鼻咽喉科	日耳鼻夏期講習会	1つの教育機関では補えない課題の研修に役立つこと	卒後5年以上を経過した者
	日耳鼻冬期講習会	実技（検査法，手術）に関する講義	同 上
	日本耳鼻咽喉科学会総会時の研修会	会員の研修	主に第一線開業医
医学放射線	医用画像工学会		医用画像に関する基礎研究者
	日本医学放射線学会生物部会		学会会員，治療医と基礎医学者
	日本医学放射線学会物理部会		基礎，臨床，その他
	放射線専門医会		学会会員
	断層撮影法研究会		学会会員が主，日技学会員
	日本神経放射線研究会		放射線科医，脳外科医，神経内科医
	日本血管造影研究会		学会会員
	NMR 医学研究会		限定せず
	胃癌放射線治療研究会		学会会員
	肺癌放射線診療研究会		学会会員，他学会員
	放射線腫瘍学研究会		
	放射線治療システム研究会		学会会員，物理学者，生物学者
	心臓放射線研究会		学会会員
臨床小児放射線研究会		学会会員，小児科医，小児外科医	
保険医	Workshop	卒後教育	学会会員
	危険選択研究会	保険医学危険選択の研究	同 上
産業衛生	産業看護研修セミナー	産業看護職の卒後教育	看護婦，保健婦
	特別研修会	会員の能力向上	学会会員
気管食道科	日本気管食道科学会研修会	気管食道科領域の進歩発展のため	学会会員
	日本気管食道科学会講習会	同 上	同 上
麻酔	総会教育講演		学会会員（主として卒後5～10年）
	Refresher Course Lecture		麻酔指導医受験者
	基礎麻酔学セミナー		同 上
胸部外科	日本胸部外科学会卒後教育セミナー	胸部外科領域の卒後教育	胸部外科医（主として卒後10年くらい）
脳神経外科	日本脳神経外科コンGRESS		日本脳神経外科学会認定医および若手医師
	Continuing Education Program	世界の動向を知る	学会会員
	ランチタイム・セミナー 卒後セミナー	トピックスの解説 解説	若手脳神経外科医 同 上
糖尿病	糖尿病学の進歩		コ・メディカル，糖尿病患者，臨床医
神経	神経内科疾患の病理学セミナー	主要神経疾患の病理のキーポイントを解説	若い研修医，医員，研究生
老年医	セミナーまたはサテライトシンポジウム	老年医学に関する研修	若手学会会員，一般勤務医，開業医

表 つづき

学 会	教育プログラム名	目 的	対 象
リハビリテーション医	日本リハビリテーション医学会 医師卒後教育研修会 セミナー	リハビリテーション医学の主要部分の知識の充実 リハビリテーション医学関係者のリハビリテーションに関する知識の向上	学会会員の若手医師 学会出席者
リウマチ	リウマチ地方研修会 リウマチ中央教育研修会 公開講座	リウマチ学の初級知識の普及 リウマチ学の中級知識の普及 リウマチ学会の内容の紹介	開業医，地区勤務医 卒後5～10年くらいの勤務医中心 学会開催地区の開業医，患者，一般
エム・イー	ME 技術講習会	ME の実践に必要な基本的知識の修得	医療の場で ME 機器に接している医師，技師，看護婦などの医療関係者，医療産業で働く開発・生産・サービス技術者など
形成外科	学術講習会	形成外科医の日常使用する基本手技に関する知識と技術の習得の一助とする	学会会員
人工臓器	(卒後教育) セミナー	人工臓器の臨床応用に関する教育	①会員歴5年以内の者優先 ②全国の医療施設 ③パラメディカル
小児外科	小児外科セミナー 日本小児外科学会卒後教育セミナー	小児外科基礎知識の普及 専門領域の知識拡大と能力向上	卒後数年以内の小児外科医，一般外科医，小児科医，産科医 小児外科専攻3～4年経験者，小児外科学会認定医受験をめざす人
核医	核医学講習会	核医学の応用技術の習得ならびに一般知識の向上	学会会員，一般希望者
心身医	サイコソマのつと 心身症と東洋医学研究会 心身医学研修会 講習会	心身医学の啓蒙 東洋医学と心身医学の交流 認定医制度をめざして，心身症の診療に必要な技法の講習を行う	若手医師，開業医，勤務医 開業医，勤務医，漢方医 一般医，とくに開業医 支部会員，医師，学生，看護婦，臨床心理関係者
病院管理	例会	病院管理学の発達	学会会員
消化器内視鏡	学会セミナー 総合セミナー	専門領域の能力向上 同 上	学会会員，一部非会員も受容 同 上

2. 教育方法		評価せず	51
講義 (演)	32	自己評価	3
講義+討論・質疑	23 (うち合宿形式1)	テスト	3 (うち希望者のみ1)
講義+実習	8	論文提出	1
講義+症例検討	6	修了証交付	13
発表・討論	6	受講・認定証	13
シンポジウム形式	4	認定医資格	1
見学	2	生涯教育点数 (検討中)	14
記載なし	1		
3. 評価		4. 開催時期	
		学会総会時	31

1月	1	200~300	6
2月	3	300~500	10
5月	4	500~1,000	2
8月	2	1,000名以上	7
9月	1	7. 参加費	
春	1	不要	24
夏	5	500円	5
秋	1	1,000円	6
年1回	14	1,000~5,000円	13
年2回	11	5,000~10,000円	7
年5~6回	4	10,000~20,000円	9
2~3年に1回	3	20,000~30,000円	6
月1回	2	30,000~50,000円	4
5. 期間		50,000円以上	1
1日間	62	必要	6
2日間	5	不定	1
3日間	1	8. 申込	
4日間	2		
5日間	1		
2週間	1		
6. 定員			
なし	18		
50名以下	7	登録制	2
50~100名	21	手続不要	19
100~200	13		
			(白書担当 畑尾正彦)
			当日申込 10
			学会事務局に申込 10
		申込手続必要 59	開催者に申込 18
			申込用紙送付 14
			告示による申込 7

資料13：国内医学教育ワークショップ

日本医学教育学会

わが国における医学教育ワークショップは、昭和49年12月14~21日に開催された第1回医学教育者のためのワークショップ以来今日まで数多く、いろいろな規模で行われている。これらの多くはWHO方式によるteacher trainingを目的としたものであるが、単にteacher trainingに止まらず、自分の機関の医学・医療教育に関する問題を解決するためのワークショップも企画されるようになってきている。

前回の医学教育白書1982年版に1981年中間までのワークショップがまとめられている¹⁾が、ここでは1981年1月より1985年12月末までを、アンケート調査を中心に年度ごとに集計した。

医学教育に関するワークショップ(WS)の集会形式

としては、従来の講演会(L)、パネル・ディスカッション(PD)で行われたものもアンケートで返信していただいた教育に関するものはこの集計に含め、それぞれの形式を付記した。

この集計のためのアンケート調査にご協力いただいた下記の各施設に感謝する。なお、アンケート調査の詳細については「医学教育」に掲載を計画中である。

旭川医大、北大医学部、札幌医大、弘前大医学部、秋田大医学部、東北大医学部、新潟大医学部、筑波大医学部専門学群、自治医大、群馬大医学部、独協医大、防衛医科大学校、日本大医学部、慈恵医大、昭和医大、慶應大医学部、東京女子医大、杏林大医学部、聖マリアンナ医大、東海大医学部、山梨医大、金沢大医学部、金沢